



令和6年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年2月13日

上場会社名 株式会社 コンセック
コード番号 9895 URL <http://www.consec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡本 浩一

TEL 082-277-5451

四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	7,642	8.1	12		59	234.7	184	
5年3月期第3四半期	7,071	2.8	18		18	82.3	28	

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 384百万円 (846.7%) 5年3月期第3四半期 41百万円 (60.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	102.58	
5年3月期第3四半期	15.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	12,512	8,064	63.2
5年3月期	11,640	7,723	65.0

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 7,902百万円 5年3月期 7,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		0.00		25.00	25.00
6年3月期		0.00			
6年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	8.3	70	36.3	120	20.2	200		111.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期3Q	1,864,011 株	5年3月期	1,864,011 株
期末自己株式数	6年3月期3Q	70,876 株	5年3月期	70,812 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期3Q	1,793,178 株	5年3月期3Q	1,793,311 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、慢性的な人手不足、在庫増加による生産調整、生活必需品の値上げなどの下押し要因はあったものの、各種イベントの開催やインバウンド需要の継続により飲食業や観光産業が堅調に推移し、また、民間の設備投資も回復傾向にあり、国内景気全体としては小幅な改善で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループは、各事業分野において、積極的な事業活動を推進してまいりました。切削機具事業では前四半期から継続して新製品の受注拡大に、特殊工事業では公共インフラの整備等の工事案件の大口受注活動に、建設・生活関連品事業では販路拡大、既存顧客の深堀等に、工場設備関連では生産性の向上に、介護事業では利用者の皆様の満足度向上に、それぞれ注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は76億42百万円(前年同期比8.1%増)となりました。損益面におきましては、営業利益は12百万円(前年同期は営業損失18百万円)、経常利益は59百万円(前年同期比234.7%増)となりました。特別利益として関係会社株式売却益1億18百万円、取用補償金73百万円などにより2億14百万円(前年同期は投資有価証券売却益など2百万円)、また、特別損失として減損損失など26百万円(前年同期は固定資産除売却損など1百万円)を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億84百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。(セグメント間の内部売上高は含まれておりません。)

(切削機具事業)

新型の切削機具の受注が引き続き好調に推移し、売上高は29億29百万円(前年同期比17.6%増)となりました。原価、販売費及び一般管理費が嵩んだものの、営業利益は2億42百万円(前年同期比37.2%増)となりました。

(特殊工事業)

インフラ整備関連のダム、高速道路、橋梁のメンテナンス等の大型工事案件の受注が低調に推移し、売上高は11億27百万円(前年同期比14.1%減)となりました。原価低減にも努めましたが、販売費及び一般管理費が嵩み、営業利益は59百万円(前年同期比43.0%減)となりました。

(建設・生活関連品事業)

主要顧客である小口建設設備関連の受注が順調に推移したことにより、売上高は26億20百万円(前年同期比9.2%増)となりました。原価、販売費及び一般管理費の低減にも努め、営業利益は88百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

(工場設備関連事業)

主要顧客からの大型受注が順調に推移し、売上高は6億円(前年同期比29.5%増)となりました。原材料の高騰、供給制約等が収まらず、営業損失は17百万円(前年同期は営業損失34百万円)となりました。

(介護事業)

各施設の利用者数は前年並みに推移し、売上高は2億67百万円(前年同期比0.6%増)となりました。原価、販売費及び一般管理費の低減に努め、営業損失は12百万円(前年同期は営業損失22百万円)となりました。

(IT関連事業)

主要顧客からの受注が低調に推移したため、売上高は99百万円(前年同期比29.8%減)となりました。原価、販売費及び一般管理費の低減にも努めましたが、営業損失は19百万円(前年同期は営業損失20百万円)となりました。なお、第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社デンサンの全株式を売却したため、第2四半期連結会計期間末に連結の範囲から除外しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から8億72百万円増加し125億12百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加7億99百万円、棚卸資産の増加62百万円、売上債権の減少1億38百万円などにより6億59百万円増加し61億74百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加2億76百万円などにより、2億13百万円増加し63億38百万円となりました。流動負債は、仕入債務の増加2億26百万円、短期借入金の増加2億76百万円などにより5億47百万円増加し33億88百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減少42百万円、繰延税金負債の増加27百万円などにより17百万円減少し10億60百万円となりました。なお、長期・短期借入金は2億34百万円増加し13億29百万円となりました。株主資本は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益1億84百万円、配当金の支払45百万円により、1億39百万円増加し8億30百万円となり、株主資本合計で1億39百万円増加し74億47百万円となりました。その他の包括利益累計額は1億95百万円増加し4億55百万円、非支配株主持分は7百万円増加し1億63百万円となり純資産合計は3億42百万円増加し80億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年11月10日付で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,380,020	2,179,227
受取手形、売掛金及び契約資産	2,096,157	1,901,712
電子記録債権	223,970	279,994
商品及び製品	1,093,777	1,093,722
仕掛品	92,244	97,720
原材料及び貯蔵品	454,033	510,213
その他	181,954	116,929
貸倒引当金	△7,242	△5,726
流動資産合計	5,514,912	6,173,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,908,268	3,748,219
減価償却累計額	△2,926,870	△2,849,216
建物及び構築物 (純額)	981,397	899,003
機械及び装置	589,372	657,443
減価償却累計額	△479,644	△553,476
機械及び装置 (純額)	109,728	103,967
土地	3,483,010	3,487,235
その他	997,909	1,035,631
減価償却累計額	△910,780	△938,543
その他 (純額)	87,129	97,088
有形固定資産合計	4,661,265	4,587,293
無形固定資産		
のれん	7,995	40,025
その他	27,465	51,011
無形固定資産合計	35,459	91,037
投資その他の資産		
投資有価証券	819,459	1,095,560
繰延税金資産	49,107	7,011
退職給付に係る資産	293,940	299,328
その他	278,474	275,670
貸倒引当金	△12,303	△17,426
投資その他の資産合計	1,428,677	1,660,143
固定資産合計	6,125,401	6,338,472
資産合計	11,640,313	12,512,263

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,243,790	1,058,460
電子記録債務	680,490	1,091,976
短期借入金	515,611	791,204
未払法人税等	52,538	43,463
賞与引当金	105,765	77,565
完成工事補償引当金	240	207
その他	242,238	325,074
流動負債合計	2,840,672	3,387,949
固定負債		
長期借入金	578,861	537,332
役員退職慰労引当金	147,955	153,970
退職給付に係る負債	301,930	291,315
その他	48,280	77,406
固定負債合計	1,077,025	1,060,023
負債合計	3,917,697	4,447,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	2,629,074	2,629,074
利益剰余金	691,332	830,446
自己株式	△103,188	△103,262
株主資本合計	7,307,487	7,446,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,800	197,736
為替換算調整勘定	160,807	212,267
退職給付に係る調整累計額	57,023	45,048
その他の包括利益累計額合計	259,630	455,051
非支配株主持分	155,498	162,712
純資産合計	7,722,616	8,064,291
負債純資産合計	11,640,313	12,512,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	7,071,436	7,642,116
売上原価	5,411,394	5,884,077
売上総利益	1,660,042	1,758,039
販売費及び一般管理費	1,677,857	1,745,623
営業利益又は営業損失(△)	△17,814	12,415
営業外収益		
受取利息	887	1,143
受取配当金	25,020	31,782
受取手数料	4,729	4,396
受取家賃	9,523	9,606
その他	15,287	15,930
営業外収益合計	55,447	62,858
営業外費用		
支払利息	2,418	2,896
為替差損	16,426	11,084
その他	1,052	1,931
営業外費用合計	19,895	15,911
経常利益	17,737	59,362
特別利益		
固定資産売却益	499	8
投資有価証券売却益	1,659	21,632
収用補償金	—	73,477
関係会社株式売却益	—	118,400
特別利益合計	2,158	213,517
特別損失		
固定資産除売却損	401	1,832
減損損失	—	23,928
投資有価証券評価損	179	—
特別損失合計	580	25,760
税金等調整前四半期純利益	19,315	247,119
法人税、住民税及び事業税	46,099	51,505
法人税等調整額	13,923	21,072
法人税等合計	60,021	72,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,706	174,542
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,890	△9,402
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,815	183,944

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△40,706	174,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,421	158,331
為替換算調整勘定	93,705	63,269
退職給付に係る調整額	△13,842	△11,975
その他の包括利益合計	81,284	209,625
四半期包括利益	40,578	384,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,513	379,365
非支配株主に係る四半期包括利益	4,065	4,802

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自令和4年4月1日 至令和4年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	IT関連事業	合計
売上高							
外部顧客への売上高	2,490,564	1,311,575	2,398,572	463,143	265,816	141,766	7,071,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,037	—	23,023	22,972	—	8,569	63,601
計	2,499,601	1,311,575	2,421,595	486,115	265,816	150,335	7,135,038
セグメント利益 又は損失（△）	176,452	103,157	72,933	△34,326	△22,297	△19,664	276,255

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	276,255
セグメント間取引消去	△9,101
全社費用（注）	△284,969
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△17,814

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自令和5年4月1日 至令和5年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	I T 関連事業	合計
売上高							
外部顧客への売上高	2,929,166	1,127,044	2,619,575	599,572	267,290	99,469	7,642,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,434	—	28,502	34,415	—	3,619	78,969
計	2,941,600	1,127,044	2,648,077	633,987	267,290	103,087	7,721,085
セグメント利益 又は損失（△）	242,150	58,812	87,956	△17,401	△12,111	△18,545	340,861

（注）第2四半期連結会計期間において、I T 関連事業セグメントに属する連結子会社である株式会社デンサンの全株式を売却したため、第2四半期連結会計期間末に連結の範囲から除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	340,861
セグメント間取引消去	△3,966
全社費用（注）	△324,480
四半期連結損益計算書の営業利益	12,415

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：千円）

	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	I T 関連事業	合計
減損損失	—	—	23,928	—	—	—	23,928

（のれんの金額の重要な変動）

「特殊工事業」セグメントにおいて、当社が、株式会社丸金建設の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては31,981千円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社丸金建設
事業の内容 一般土木建設業

②企業結合を行った主な理由

当社は、土木建設関連企業として「メーカー部門」「工事部門」「商社部門」の三位一体体制による事業運営を展開し、建設・土木工事現場における安全と環境に優しい製品や技術を開発・提供し、社会の繁栄と課題解決に努めてまいりました。

また、当社グループは、令和4年5月に中期経営計画(第56期～第58期)を策定し、工事部門における積極的な業務提携やM&Aを推進し事業規模の拡大を図るとともに、グループ内の技術交流や相互支援体制の整備など、グループ間連携の強化に努めることとしております。

丸金建設は土木工事、舗装工事、解体工事などの多くの公共工事を請け負うなど、長年地域社会に根ざした信用力のある事業を展開しております。

丸金建設が当社グループに加入することにより、当社グループ工事部門と共に一層地域に根ざした事業展開が可能となるほか、グループ全体での技術交流や相互支援体制の充実に図れるなど、お互いが相乗効果を発揮し、より発展できるものと判断いたしました。

③企業結合日

令和5年10月2日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑥取得する議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

貸借対照表のみを連結しているため、当第3四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得原価 27,000千円

(4) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー費用等 12,000千円

(5) 発生するのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん

31,981千円

②発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

③償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

①資産の額

流動資産 46,950千円

固定資産 55,008千円

資産合計 101,958千円

②負債の額

流動負債 107,100千円

負債合計 107,100千円